

令和7年度第1回理事会議事録

1. 日 時：令和7年5月26日（月）：17:30-18:40
 2. 出席者：奥沢悦子、吉田泰憲、木村正彦、逆井久美子、久保沢勇亮、佐藤舞、高松みどり、小山内誠、齋川牧子、齋藤賢、鳥谷部慎子、中島有里、金子なつき、佐々木義明、野中健一、石鳥純子、千葉満、齋藤浩治、中村忠善
 3. 欠席者：須藤安史
- 定款第5章第32条及び諸規定により、議長に奥沢会長があたり、書記に齋藤賢理事が指名され、オンラインで審議が行われた。

【報告事項】

1. 学術部経過報告

吉田学術部長より以下の報告があった。

①各種研修会

・青臨技関連（日臨技システム登録分）のみ

- 02/26 令和6年度 三八支部 輸血細胞治療部門研修会・・・参加者：18名
03/01 令和6年度 青臨技 染色体・遺伝子部門研修会（第1回）・・・参加者：17名
03/08 令和6年度 青臨技 臨床血液部門研修会（第2回）・・・参加者：38名
03/01 令和6年度第3回下北支部研修会・・・参加者：15名
03/15 青森県感染対策協議会（AICON）検査技師部会研修会（ミーティング）
・・・参加者：25名
04/26 令和7年度 青臨技 臨床微生物部門研修会（第1回）・・・参加者：39名

・その他

- 04/20 日本医療検査科学会 第39回春季セミナー・・・参加者：73名

〈今後開催予定の学会・研修会〉

- 05/31 令和7年度 青臨技 臨床検査総合部門研修会
06/07 青森県輸血療法懇話会
06/15 第51回 青森県医学検査学会
06/26 令和7年度 青臨技東青支部 生物化学分析部門研修会

・北日本支部

- 9/6～9/7 日臨技北日本支部 臨床一般検査部門研修会（担当：青森県）
11/15～11/16 第13回 日臨技北日本支部医学検査学会 新潟県新潟市
日付未定 日臨技北日本支部 臨床生理部門研修会（担当：青森県）

・全国学会

2026/09/26～27 第75回 日本医学検査学会 千葉県千葉市（幕張メッセなど）

②令和6年度 精度管理指導者講習会・・・6/14 八戸グランドホテルにて開催

各部門の担当者（12発表）より、音声入りのスライドを会場で視聴。

14:30～16:40までの130分の限られた時間のため、原則会場からの質問には対応しない方向。後日動画配信の予定ではあるが、動画配信の視聴においては「日臨技生涯教育」の点数の取得はなし。

③その他・・・令和7年度 第1回部門長会議（6/15 八戸グランドホテルにて開催）

2. 公益部経過報告

木村副会長より高校生心電図検診について以下の報告があった。
前期の分は終了。欠席者や再検査の調整を各支部で行っている。

3. 渉外部経過報告

奥沢会長より検査と健康展、JIMTEF について以下の報告があった。

「検査と健康展」を今年度も開催する予定。JIMTEF 候補に関して推薦方法をどうするか検討が必要。両方とも須藤渉外部長が担当。

4. 事務局経過報告

逆井事務局長より以下の報告があった。

（一社）青森県臨床検査技師会

4月からの総数：新入会6名、再入会1名、転入3名、転出4名、退会0名

会員数：629名（新入会7名、転入1名、転出3名）、名誉会員7名、永年会員49名

①次年度の理事の選出について、支部で相談して選出をお願いします。

②議事録の10年保存について事務局で確認する。

③定時総会について

表彰は木村副会長、表彰補助は佐藤理事と高松理事、表彰時の司会は中村監事をお願いする。

5. 奥沢会長より報告

①第74回日本医学検査学会 5月9日～11日（グランキューブ大阪）

担当者顔合わせ・挨拶まわり・視察等を実施した。

一般演題 507 演題、特別企画 30 企画、展示 68 社。大会場の使い方・時間割によって、収容人数が適正ではない会場があり、収容人数の差が見受けられた。

ランチョンセミナーが少ないせいか、弁当が不足。軽食コーナーは必要との意見が聞かれた。

情報交換会：挨拶長い。挨拶聞いてない。アトラクションによって会話できない時間が多い。飲食に並ぶ時間が長い割には、テーブルには食べ残しが多い。バイキングだが何らかの工夫は必要。

良かった点：我々75JAMTのブースで放映ビデオ内容がよく、問い合わせがきた。半纏・広告用ポスター、リンゴマークのロゴ、付箋も好評であった。

②北日本支部

タスクシフト指定講習会は岩手県アイーナ（6/22 開催）が他県開放となり、5/19 時点で開催が決定。青森県から 20 名が参加（5/19 時点）

③日臨技より

・学会支部研修会あり方委員会

従来の日本医学検査学会・支部学会では、学会は学会における医師、診療放射線技師などのメディカルスタッフが共同演者の時は、非会員のため、5000 円支払って抄録に掲載されていたが、これを無料とする。この取り決めは臨床検査技師だが日臨技非会員の場合に適用となる。

・日臨技第1回理事会

令和7年度定時総会6月28日（川崎）開催。令和6年度の事業報告では予算約13億円、精度管理事業等で約14億円、約1億円の負債となる。日臨技で理事会の現地開催を一部Web開催にして、開催場所も技師会館（大森）・宿泊場所は近隣の安価なホテルへ変更。精度管理事業を縮小することなく、電子書籍化や郵便等の搬送をメールにする等で約1億円を解消する予定。

・臨床検査技師の臨地実習における受け入れの施設側への費用を今後検討していく。

12科目から14科目へと新しいカリキュラムになり、臨地実習での評価法に関するWGが立ち上がる。また臨地実習施設の実施内容をシステム管理、マッチングができるシステムの検討をする。7月にシステム改修費用を盛り込む予定。

④青森県臨床検査技師会長、日臨技理事 奥沢悦子 行動報告

2025年

- 3月4日(火) 日臨技予算委員会 (web)
- 3月5日(水) 日臨技災害WG会議 (web)
- 3月12日(水) 日臨技災害協定Web説明会
- 3月17日(月) 日本臨床検査振興協議会 大規模災害対策委員会会議 (web)
- 3月18日(火) 日臨技 全国支部学会研修会あり方委員会 (web)
- 3月19日(水) 日臨技依頼令和6年度「医療フォーラム21」シンポジスト(東京)
- 3月22日(土) 第7回日臨技理事会 (川崎)
- 3月24日(月) 75JAMT 企画打ち合わせ (web)
- 3月31日(月) 日臨技 生涯教育あり方委員会 (web)
- 4月10日(木) ~13日(日) 第16回アジア太平洋医療検査科学フォーラム
国際会議出席依頼あり、E-ポスター発表(台湾)
- 4月19日(土) 青森県医師会 野田浩医師と面談 精度管理事業について
- 4月20日(日) 日本医療検査科学会春季セミナー(弘前) 情報交換会にて紹介あり
- 4月21日(月) 「連盟」勉強会参加
- 4月26日(土) 第1回日臨技理事会(川崎)
- 4月29日(火・祝日) 青臨技 会計監査(八戸市内)
- 4月30日(水) 日臨技依頼: 参議院 中田宏議員との対談(参議院会館)
- 5月9日(金) ~11日(日) 第74回日本医学検査学会(大阪)
75JAMT 視察・教育講演・演者・次年度学会長挨拶
- 5月21日(水) 日臨技 生涯教育あり方委員会 (web)
- 5月22日(木) 日臨技 全国支部学会研修会あり方委員会 (web)

【議題】

1. 令和6年度収支計算書について
久保沢会計担当から令和6年度の収支計算書について報告があった
理事に了承を求めたところ、過半数の出席者が異議なく了承された。

【その他】

1. 第51回青森県医学検査学会の進捗状況について
要旨集が大体出来上がり順調に進んでいる。6/6に情報交換会とランチョンセミナーの締め切り。参加人数が確定したらサイボウズで連絡する。費用を抑えるのであれば次回も現地開催。1日でZoom無しの現地開催ならかなり費用を抑えることができる。

2. 会費の値上げ以外での赤字対応策について

出費赤字解消が必要である。学会会場の選定（ほぼ会場費がかからない場所での開催）、学会開催期間を検討する、青臨技会誌の電子書籍化への移行、日臨技生涯教育研修制度（都道府県技師会開催生涯教育推進研修会への助成）を 20 件 100%で助成金（1 件 5 万円）申請する等、の解消策が挙げられる。

現在、年会費 7000 円。会費値上げはせずに、対抗措置で様子を見るでよいか。

3. 野球肘検診について

7 月 5 日（土）に実施予定。むつ総合病院から 5 名、公立野辺地病院の吹越さん、齋藤監事が担当する。

4. 第 52 回青森県医学検査学会について

2026/6/28（日）に青森市のアラスカ会館で開催予定。メイン会場の他に小さめの会場も確保している。会場費の見積もりは 50 万円。

上記の事項について理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。